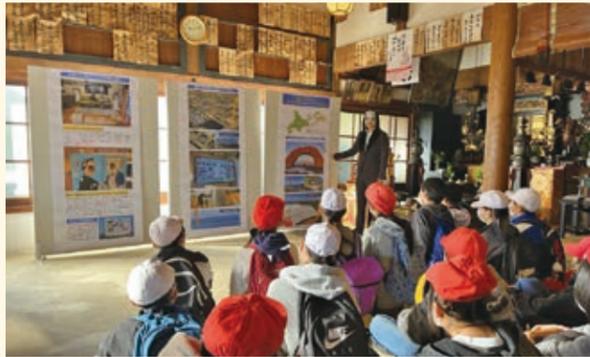


～下田のデキゴト～



**2/6 北方領土問題への関心と理解を**

2月7日の「北方領土の日」に合わせ、市内小学校の6年生113名がグループに分かれ、玉泉寺や長楽寺などの市内関連施設を見学しながらウォーキングしました。長楽寺では、元島民三世でプロレスラーの七星氏による講話も行われました。



**2/12 次世代の女性消防士のために**

下田消防本部・神尾消防士が、第33回静岡県消防職員意見発表会にて優秀賞を受賞しました。「陽だまりに込めた望みと誓い」と題し、女性傷病者の心理的負担軽減や女性消防士の存在について、その重要性を提言しました。



**2/19 長年の功績を讃えられ**

統計事務に顕著な功績を残された方を表彰する静岡県統計功労者表彰式が2月5日に静岡市で開催され、2025年農林業センサスの統計調査員として尽力いただいた西谷猛氏が、これまでの功績を讃えられ農林水産大臣表彰を受賞されました。



**2/9 ぺるりん石像を寄贈いただきました！**

ぺるりん復活プロジェクトのメンバーが松木市長を訪問し、クラウドファンディングの進捗状況の報告と併せ、ぺるりん石像を寄贈いただきました。今後は、本年5月の黒船祭開国市でのお披露目に向けて準備をすすめていくとのことです。



**2/12 防災を自分事として考える**

令和7年度第2回防災講演会を実施しました。(株)いのちとぶんか社 葛西優香取締役を講師に招き、氏がこれまで経験した災害や移住先の福島県浪江町の取組み事例を紹介いただき、地区防災計画の策定や事前備えの重要性を説明いただきました。



**2/19 安心安全な水道事業を継続するために**

公共料金審議会の寺川会長より、諮問「水道料金について」に対し答申がありました。老朽化した施設の更新等、安心安全な水道事業を継続していく上で、一律20%程度という引き上げはやむを得ないと判断されました。

地域子育て支援センター通信



4月の予定

- 1日(水) 閉館(新年度準備)
- 2日(木) 開放開始
- 4日(土) 開館日
- 9日(木) 午後：リトルママの会
- 13日(月) 体育館で遊ぼう  
場所：市民スポーツセンター
- 18日(土) 開館日
- 20日(月) 誕生会
- 22日(水) こいのぼり製作
- 23日(木) こいのぼり製作  
午後：リトルママの会
- 27日(月) 発育測定・育児相談  
保健師、栄養士来所

※予定は変更になる場合があります。  
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。

問合せ先：地域子育て支援センター ☎02200

木々や花々が芽吹き始め、春の訪れを感じられるようになりました。春は新しいスタートの季節です。こども園や保育園への入園を心待ちにしているお子様もいることでしょう。そして、お座りやよちよち歩きができるようになったり、おしゃべりが上手になったり、お子さんの成長を改めて感じさせてくれる季節でもあります。今月は、「おおきくなったねの会」で一年間を振り返り、みんなで成長を喜びあいましょう。



誕生会



作ったこまで遊ぼう



笑いヨガ



鬼のお面製作

こんにちは、市長です

コハクチヨウが飛ぶ

「鳥帰るいづこの空もさびしからむに」(安住敦。昭和も今も、都会は多くの若者を吸い寄せるが、そこに幸せがあるかどうか。大人たちは知っていても多くを語らない。それでも毎年春になると若者たちは巣立つ。希望と不安を胸に抱えて。前出の句をモチーフとした「鳥帰る」という山田太一ドラマがあった。今から30年前の、鳥取県倉吉市(白壁の蔵が並ぶしっとりした町)を舞台にした味わい深い作品である。田中好子(キャンディー)のズーちゃん)が演じる主人公が男と駆け落ち同然で上京するが、破局し傷心して帰郷する。しかし、ケンカして出ていった手前、母親(香川京子)に失敗して帰ってきたとどうして素直に言えない。一方の母の方も、廃れていく田舎まちで孤独な日々を送っていたのだが、強がってそれを隠し、互いに「自分は十分に幸せに暮らしている」とつぶやいてしまう。

ラストシーンには米子水鳥(みづとり)公園、主人公がしたなくまた東京へ戻ろうとするその前に立ち寄る。しかし、そこには一羽の鳥もいない。広い湿原の前に失意の底に立ちすくむ娘。さみしさが画面を覆う。夕暮れ前、あきらめて帰りかける利那白鳥が一羽空から舞い降りてくる。そしてまた一羽、とやってきて、やがてたくさんの群れが飛来する。それを見て娘が走りだしたその先に母が(お節介で優しいおじさんが連れて来て)立っている。やさしい眼差しで。二人は互いの孤独を理解し涙を流して抱き合う。

その最後のシーンに「鳥帰る」の句が字幕で映し出される。私はこの作品が本当に大好きで、山田太一の名作中の名作だと思っている。(あまり有名ではないが)

鳥帰る、は春の季語である。鳥たちはどこへ帰るのか。都会か故郷か。「いづこの空もさびしからむ」かもしれない。それでも若い鳥たちの新しい春に幸あれ、と祈る。



- 2月のできごと
- 31～2月4日 北方領土パネル展
  - 6日 認知症カフェ in 河内庁舎～
  - 18日 令和7年度寿大学(2月講座)

- 19日 防災講演会(下田小学校)
- 20日 防災講演会(大賀茂小学校)
- 21～22日 空き家バンク presentsDIY 講座③
- 28日 下田わくわくパーク「これば！」

※掲載情報は、2月27日時点